

特集

福島県の産業復興に向けて

～「ふくしま産業復興企業立地支援事業」指定企業の取組～

政府及び福島県では、東日本大震災及び原子力災害で広域的に被害を受けた福島県の復興再生を促進するため、新規の地元での雇用などが期待される県外からの新規立地や県内での工場の増設などを行う企業への支援等を進めています。

今回、5月11日に福島県が指定した支援対象167社のうち、相双地域などに立地する企業の取組についてインタビューしましたのでお知らせします。

(参考)

がんばろう ふくしま産業復興企業立地支援事業
平成23年度 第3次補正予算額 総額1,700億円
うち企業立地支援 約1,600億円

■事業概要

県外からの新規・復帰立地や県外への流出防止、県内での増設・移転を行う企業に対して、企業立地奨励を行う福島県の取組を支援。

▶全国最高の補助率の設定（最高3/4、自治体の奨励制度では、通常1/10程度）

▶1件あたりの最大限度額を全国最高の200億円と設定

▶製造業に加え、データセンターやコールセンター等も対象

▶用地の取得から建屋建設まで初期の工場立地経費を幅広く支援



<事業イメージ>

丸三製紙(株)

常務取締役 三田 計



業 種：加工製紙業
新・増設を行う市町村：南相馬市

「相馬野馬追」段ボールアート
(本社工場を訪問した野田総理)



(左から) 桜井南相馬市長、野田総理、野崎丸三製紙(株)社長

復興に向けた取組・事業概要

当社は1923年(大正12年)に創業し、来年90周年を迎えます。国の重要無形民俗文化財「相馬野馬追」の中心開催地である南相馬市(旧原町市)の誘致企業第一号として工場を構え60年を迎えます。事業内容は板紙(段ボール原紙であるライナーと中芯)と特殊紙(燃えない紙等の機能紙)の製造・加工・販売を行っています。

◆ 地元にご協力 頑張る

昨年3月11日に発生しました東日本大震災により、当社も被害を受けました。更に追い討ちをかけるように、東京電力(株)福島第一原発の事故により全従業員が自宅待機と避難所生活を余儀なくされ、工場の人影はなくなりました。しかし同年6月には多くの皆様からのご支援により操業再開へと漕ぎ着けました。この感謝は絶える事はありません。一方、従業員は原発事故の収束が見えない中での心理的な不安を抱えながら就業しています。そんな中、本年1月8日には野田総理大臣をはじめ政府首脳陣と桜井南相馬市長が当社を訪れ意見交換が行われました。総理から「地域産業の再生に全力を挙げる」との考えが示された事は、当社の大きな励みとなりました。今回の「ふくしま産業復興企業立地補助金」の指定により、更に地元にご協力、頑張っていく所存です。

◆◆◆ 復興に向けたメッセージ ◆◆◆

—被害を風化させず教訓とする—

“資源をつなぐ 未来をつなぐ”を企業キーワードとし当社の復興なくして地域の復興はないとの強い気持ちで、全従業員一丸となり前へ向かって進んでおります。お互い頑張りましょう。

(株)クレハ

取締役専務執行役員
いわき事業所長 須能 則和



業 種：繊維工業・化学工業他
新・増設を行う市町村：いわき市

(株)クレハいわき事業所



復興に向けた取組・事業概要

いわき事業所では、高機能樹脂、炭素製品、医薬品、家庭用ラップ「NEWクレラップ」の原料樹脂などを生産しております。

昨年の東日本大震災からの復旧は、いわき事業所においても大変な試練となりましたが、お取引先様や関係各位のご支援と従業員の真摯な行動によって、全プラントの早期の復旧と生産再開を果たすことができました。

◆ いわきに根をおろして—クレハの誇り

いわき事業所では、クレハが2015年度までの経営目標として掲げる新中期経営計画に沿って、プラントの増設など、設備投資を積極的に実施してまいります。

クレハは、いわきの地にしっかりと根をおろし、創造力あふれる技術力と生産力を磨き、人を育み、そこから価値ある商品をグローバルに供給してまいります。いわき事業所をマザー工場、各研究所を中核研究機関として位置づけ、既存事業の強みを更に伸ばしながら、新規事業を育成・拡大していく所存です。雇用を含め、事業を着実に進めていくことが、クレハを育ててくれた、このいわきの地、福島県の復興の一助になればと思っております。大震災からの復興を目指して地域と共に歩む、仕事を通じて地域へ貢献していく。それが私たちクレハの一人ひとりの誇りになると思っております。

◆◆◆ 復興に向けたメッセージ ◆◆◆

復興への道をたどり始めたばかりですが、これまで育んできた地域の皆様との絆を復興の原動力として、皆様とともに一歩一歩前進していきたいと思っております。

(株)デンソー東日本

代表取締役社長 森本 有二



業 種：自動車・同付属品製造業
新・増設を行う市町村：田村市

(株)デンソー東日本
(田村市)



デンソー東日本で製造されたカーエアコン

復興に向けた取組・事業概要

当社は、自動車部品メーカーの国内最大手である株式会社デンソーの東日本における主要な生産会社として誕生し、田村西部工業団地においてカーエアコンを生産しています。

◆ 生産の拡大を目指し、地元経済に貢献

経済環境の激変や昨年の東日本大震災等により、生産開始は当初計画から大幅に遅れてしまいましたが、昨年10月から一部を稼働し、本年8月には愛知県内のデンソーの工場に残っていた社員全員が地元に戻り、全面稼働ができる見込みとなりました。

東北地方は、自動車産業の集積地として今後の車両生産の拡大が見込まれる有望な地域であり、本年予定されているトヨタ自動車東日本株式会社設立など自動車業界の最近の動向は、東北復興につながるものと捉えています。当社としても自動車業界の一員として、微力ではありますが生産の拡大を目指し、地元経済に貢献できればと思います。今後、拡張を計画している工場においては、カーエアコン以外の製品も生産することを検討しており、生産の拡大に沿って新たに地元で雇用していきたいと考えています。

◆◆◆ 復興に向けたメッセージ ◆◆◆

自動車産業は裾野が広い産業と言われております。当社は、皆様のお力を得て、この東北の地で一生懸命事業を成長させ、東日本大震災からの復興、そして東北全体の経済の更なる成長に少しでも貢献していきたいと考えています。